

# 藻場・干潟保全で技術一覧

## 沿岸漁業新生へ提言

JAPIC

日本プロジェクト産業協議

会（JAPIC）の沿岸漁業復活プロジェクト委員会は30

日、「沿岸漁業新生」への提言をまとめ、本川一善水産庁

長官に提出した。沿岸漁業再生に向け、藻場・干潟・サン

ゴ礁などの保全・再生の重要性を説き、藻場造成・再生に

活用できる技術一覧をまとめ

たほか、森と海をつなぐ環境調和型の公共事業の実施や離

島など遠隔未利用海域での養殖プロジェクトの実施、温暖

地域で利用可能な陸上養殖プロジェクトの実施などを提言

した。

提言では、磯焼けなどによ

る沿岸域の生態系の劣化と、

漁業者の高齢化などによる水産業の衰退に強い懸念を示し

た。その上で、森と川、海が1つの生態系で結ばれている

ことを認識し、産業界のノウハウを活用して農林漁業の再

生を目指すことや、世界に売

り込める水産業の創出、地域の伝統と融合した新しい水産

ビジネスの創出などを求め

た。森や川から海に流れる栄養分を妨げないような技術的

工夫を護岸に適用するなど、

森から海までのつながりを重視した環境調和型の公共事業

を実施することも求めた。

その上で、沿岸生態系の基

盤となる藻場、干潟、サンゴ

礁などの保全・再生技術の現場での展開を促すため、「沿

岸漁業の復活・新生に向けた藻場造成の新たな技術分類と

事例集」として、21技術を提

調査・計画や設計・施工、管理・活用の各段階におけるJ

APIC会員が保有する技術を列挙。行政や漁業者が対象

海域に適した技術を選択できるようにした。現段階では、

藻場再生の技術しか提示できなかったものの、今後は同じ

技術分類表で干潟修復・保全技術を蓄積する考え。

事例集に掲載した技術と開発者

は次のとおり。

### 〈調査・計画〉

- ▽超音波を用いた藻場調査技術
- ▽応用地質▽アマモの育成地適性評価（HSU）技術▽大成建設▽アマモの適性移植場選定技術▽鹿島▽海浜変形予測手法によるアマモ場生育適地評価技術▽五洋建設

### 〈設計・施工〉

- ▽ソイルセパレータ・マルチ工法
- ▽東亜建設工業▽干潟・浅場・海浜造成技術▽五洋建設▽多様な海況に対応できるアマモ移植技術
- ▽鹿島▽カルシア改質技術▽カルシア改質土研究会▽藻場増殖プレート▽住友大阪セメント▽多機能型藻場増殖礁K-hatリーフ
- ▽鉄鋼スラック鋼と固化体研究会▽アミノ酸混和コンクリート▽日建工学・味の素▽クロメ中間育成技術
- ▽住友大阪セメント▽アマモ種苗生産と藻場再生技術▽いであ▽水産増殖につながる養殖技術▽宅岐東部漁業協同組合▽播種・株移植が不要なアマモ移植技術▽大成建設▽亜熱帯性海草の移植技術▽同▽アマモ場移植技術▽東亜建設工業▽大面積に対応できる海草機械移植技術▽五洋建設▽ビバリー
- ▽ユニット▽新日鐵住金。